

様式B-1 助成金使途申請書 / 使途報告書 (記入例)

黄色セルは自動計算です。

団体名: ぱるラボチーム

申請時は、ピンク色の欄にご記入ください。
(水色の欄は、報告の際に使用します。)

■申請・報告事項

※申請時はピンク色の欄(「申請の内訳」欄)に、報告時は水色の欄(「報告の内訳」欄)にご記入ください。
※助成金を使用する経費のみご記入ください。(自己資金を使用する経費は記入不要)

経費項目 (表1「経費項目」から選んで記入)	申請の内訳 (助成金を使用する予定の経費)		報告の内訳 (助成金の使用実績)		
	金額 (使用する予定の金額)	内訳・詳細	金額 (実際に支払った金額)	内訳・詳細	様式D-1 領収書番号
講師料	10,000	キャンプ場の生き物観察講師料 講師1名×10000円			
旅費交通費	62,000	高速バス代(往復) 福島～東京: 3,950円×大人4名、1,900円×子ども8名			
宿泊費	180,000	バンガロー宿泊代 6000円×15名×2泊			
交流費	45,000	食費 1500円×15名×2泊			
消耗品費	10,000	バーベキューで使用する炭、紙皿、紙カップ等			
使用料及び賃借料	13,000	アスレチック料金 大人1000円×9名、子ども500円×8名			
旅費交通費	32,240	電車(往復)、東京駅～奥多摩駅、大人1,240円×9名+子ども620円×8名			
合計	[A] 352,240	様式A-1「申請書」の『⑦助成希望金額』と同じ額	0		

「内訳・詳細」欄には、使用する経費の単価、人数、回数などの内訳が分かるようご記入ください。
【記入例】
・講師料→ 金額×人数
・旅費交通費→ 交通手段(片道・往復)、経路、金額×人数×回数
・宿泊費→ 金額×人数×泊数
・使用料及び賃借料→ 金額×使用回数

こちらの欄は、報告時に使用。
申請時は使用しません。

「経費項目」欄には、右の【表1:経費項目】から、あてはまる項目をご記入ください。

助成金の申請額【A】	352,240
助成額【B】	
助成金の使用額(実績)【C】	
返金(【B】-【C】)	

こちらの欄は、報告時に使用。
申請時は使用しません。

■収入に関する申告事項

※申請する企画に関わる「パル未来花基金」以外の収入についてご申告ください。
※「他の助成金」「自己拠出金」「参加費」「募金・寄付」がある場合には金額を、ない場合には「0」をご記入ください。

項目	予算の内訳		実績の内訳		
	金額	詳細	金額	詳細	
パル未来花基金以外の助成金	50,000	虹とハト募金			
自己拠出金	25,000	グループメンバーカンパ 5000円×5名			
参加費	24,000	参加費(福島からの参加者) 3000円×4名+1500円×8名			
募金・寄付	10,000	知人等からのカンパ金			
合計	109,000		0		

こちらの欄は、報告時に使用。
申請時は使用しません。

パル未来花基金以外の「助成金」「自己拠出金」「参加費」「募金・寄付」がある場合には、金額をご記入ください。ない場合には「0」をご記入ください。

【表1：経費項目】

「経費項目」欄に記入する項目	講師料	講師料(外部講師を依頼する場合で30,000円以上の講師料が発生する場合は事務局までご相談ください) ※グループ内の講師料については対象外とします。 ※交通費別
	旅費交通費	・公共交通機関、タクシーの利用代金 ・レンタカー代金、ガソリン代、有料道路料金、駐車場代 ※グループの方が被災現地に行く場合の交通費は、原則として東京都内からとします。
	宿泊費	宿泊費 ※1泊6,000円/1人を上限とします。
	使用料及び賃借料	会場などの施設使用料
	水道光熱費	カフェや炊き出しなどに使用する水道代やガス代など
	消耗品費	紙、インク、文具紙コップ、紙皿など終了後に私的な利用を目的としないものの購入費 ※企画後、私的財産となるものは対象外。
	通信・運搬費	切手、電話代、宅配便代など ※通信費は支援に必要な経費として明確に解る範囲のもので、領収書が提出できるもののみを対象とします。
	交流費	サロンなど、避難者との交流企画にともなう食事・お茶・お菓子代
	その他	項目がない経費については、震災復興支援基金担当までご相談下さい。
「収入の項目」の説明	パル未来花基金以外の助成金	「パル未来花基金」以外の助成金
	自己拠出金	グループのメンバーからの会費やカンパ、寄付など
	募金・寄付	グループのメンバー外から寄せられた募金や寄付、カンパなど
	参加費	企画参加者から徴収する参加費や会費、入場料など